

# 令和の福祉イベント新例 ～ 楽しくて、ためになるイベント企画・運営 ～

2019年度 Ver.2



## 事例2

福祉体感イベントinイオンモール各務原  
来て・見て・ふれて ふくしワールド

【開催日】令和元年11月10日(日)

【開催場所】イオンモール各務原(各務原市朝加堂橋南)  
1階ノースコート他

# 目次

- イベント会場の選定.....1
- 関係者との連携.....2
- イベントの進行.....5
- 福祉色の出し方・薄め方.....6
- イベントのコンテンツ.....7
- イベント会場の空間デザイン...8
- イベント会場の回遊性.....9
- 広報・PR.....10
- 集客の効果・把握とフォロー...11
- 「ともにん」の効果的活用.....12

## 【開催趣旨】

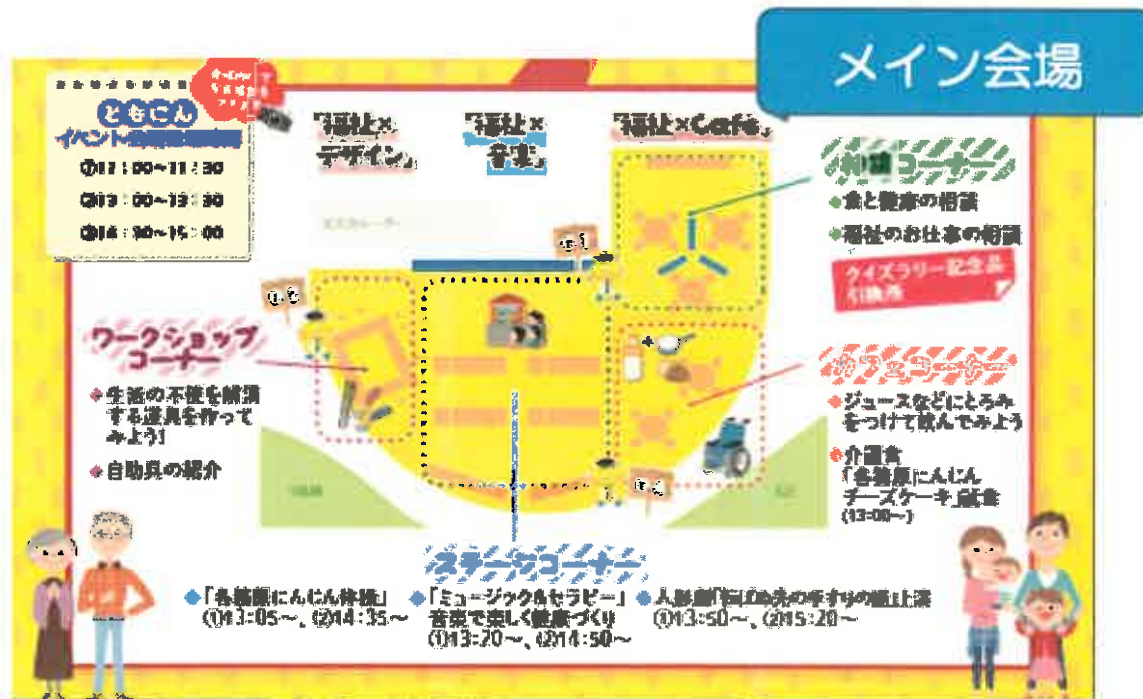
少子高齢化に伴い、より多くの福祉・介護人材が求められ、将来の福祉への就労につながるよう、福祉・介護に対する理解を推進する必要がある。

そこで、ショッピングモールに訪れる多様な来場者に向け、日常生活に焦点を合わせたテーマの体験・展示等を通して福祉を体感し、親しんでいただくことで、福祉の世界のイメージアップを図るとともに、岐阜県社会福祉協議会・岐阜県福祉人材総合支援センターの存在を広く周知することを目的に開催する。

# イベント会場の選定

## ショッピングモールの活用

- 買い物等で来場した通りすがりの人々の目に触れ、集客が期待できる
- 来場者の駐車場に困らない



### アンケート結果検証

参加者の7割程が、イオンモールに来てからイベントを知り立ち寄せられた。





## 岐阜県建築士会／岐阜県福祉事業団

### ワークショップ「便利な道具を作ってみよう」 自助具の展示・紹介・体験

- ・ワークショップコーナーでは、子どもたちが生活に役立つ道具作りに熱中。足腰が悪くかがみにくい方でも、自分で靴下をはくことができるよう考案された『ソックスエイド』や、目が見えにくい方でも見えやすいボトルの製作も
- ・疑似体験眼鏡での体験や職員のソックスエイドの実演を来場者は関心をもって見学



▲ワークショップコーナーでは子どもたちが便利な道具づくりを体験

### 人形劇「転ばぬ先の手すりの話」上演

- ・建築士とケアマネなど福祉の専門家が住宅の中の不便を解消し、高齢者が暮らしやすくなったというお話を人形劇にして上演
- ・最後に来場者に向け、バリアフリーへの住宅改修のポイントなどの説明も



▲岐阜県建築士会「福祉まちづくり建築士」の方々による人形劇の上演とバリアフリーの説明



## 東海学院大学 「各務原にんじん体操」 介護食「各務原にんじんチーズケーキ」試食 食と健康相談コーナー

- 東海学院大学が、「各務原にんじんの歌」に合わせ健康体操を考案。幼児向け体操や、高齢者向けの健康体操を披露し、振付の説明も行い、来場者も一緒に体操を楽しんだ
- 介護食「各務原にんじんチーズケーキ」の試食では、一口サイズにカットしたチーズケーキをトレイでふるまうことで来場者の満足につながった
- 管理栄養士の先生による、無料の食に関する健康相談も



▲カフェコーナーでは東海学院大学の学生が考案した「にんじんチーズケーキ」の介護食おやつを提供試食。隣(写真左側)は食と健康相談コーナー



▲子どもたちも積極的に参加した「にんじん体操」  
岐阜県「社協マスコットキャラクターともにん」も一緒に

## サンクゼール（1階店舗） とろみ飲み物体験

- 協力店舗「サンクゼール」では、お店のおすすめ商品「万能野菜だし」のスープにとろみをつけた介護飲み物体験を実施
- メイン会場と店舗の間に、買い物客の流れができる



▲▼1階「サンクゼール」店舗で  
とろみのついたスープを試飲する来  
店者



# イベントの進行

## イベントの進行はプロの司会者に

- プロの司会者に進行を依頼
- 11時から開催した「ともにん」登場の時間には、会場内の各コーナーを回り、わかりやすく軽快な紹介で会場周辺にいる来場者をイベントに誘い込んだ



▲▼司会者による各コーナーの紹介。プロに委託することで会場周辺にいる人々に効果的にPR

## ベストな時間帯を考える

- ショッピングモールは曜日・時間帯等によって来場者の客層に特性がある
- 11月10日の来場者の多寡
  - 11:00~12:00 ★★★★★☆
  - 13:00~ ★★★★★☆
  - 15:00~ ★★★☆☆☆

※時間帯で検証

※天気：晴れ 近隣では航空自衛隊の航空祭が開催されていた



# 福祉色の出し方・薄め方

～『楽しく』・『ためになる』イベントの創造～

## 薄め方→『楽しく』

- ・来場者が「楽しい」と感じることを切り口に  
今回は「音楽と体操」をテーマとした
- ・動きを創出  
体感する（ミュージック&セラピー、にんじん体操、介護食の試食、  
ワークショップ、人形劇、車いす体験、クイズラリー）



▲職員が説明をしながら参加者を介助。車いす体験



▲クイズラリー  
クイズ問題と  
記念品



## 出し方→『ためになる』

- ・クイズや車いす介助者の説明が、役に立たと体験者の反響有り
- ・福祉のお仕事についても、相談コーナーを設けることで、来場者が求職・資格取得などを相談した
- ・ワークショップコーナーでの自助具の製作、イベントコーナーでの「パタカラ唱」など、福祉の世界を体感

### アンケート結果検証

- ・「子どもが参加できてよかった」「勉強になった」「楽しかった」などの感想が多数
- ・良かったコーナーのアンケート回答数は、1位が「とろみ飲み物体験」で81件  
(※自分でジュースなどにとろみ剤をまぜて、介護食として試飲。とろみの役割を説明)

相談コーナー▶  
にぎやかなイベントスペースの中でも、仕切りがあるため相談に集中できる





# イベントのコンテンツ

## 今回のイベントの構成要素

- 音楽を中心に「福祉×音楽」「福祉×カフェ」「福祉×デザイン」という体験を通して「ふくしの世界」に触れる
- 前回開催時に需要があったため、「福祉のお仕事相談コーナー」を設置
- 車いす体験では、参加者が車いすに座り、介護の資格を持つ職員が、介助のポイントなどを説明しながら、短いコースを案内
- クイズラリー。クイズとアンケートに答えた方には、記念品をプレゼント。今回は、いぶき福祉会の「マカポン」の各種フレーバーを用意

## 多過ぎず、少な過ぎずが適当

- 「盛りだくさん」ということも来場者の関心をひくポイント
- 色々と体験する中から来場者が「楽しい」や「ためになった」と感じ、その日の記憶として後々残ることも

# イベント会場の空間デザイン

## 統一イメージで会場に一体感を

- ・チラシ、看板、掲示コーナー（パネル等）のデザインをカラー・イラスト「福祉×〇〇」等を統一して作成

## 会場の有効活用

- ・メイン会場となったノースコートは3階まで吹き抜けとなっていて、階上のフロアからも、見下ろすことができ、またセンターコート、隣接のフードコート、モールの出入口など各方面から往来があるため、遠くから見ても認識できるように、大きなパネルを設置



- ▲イベントをモール来場者にアピールするため、イベントステージの背景を成す巨大パネルを設置（幅540cm×高さ210cm）
- ◀離れた場所でも関連性がわかるよう、各コーナーに設置するパネルは統一デザイン

# イベント会場の回遊性

## イベント会場内の導線を効果的に

- より多くのコーナーを見学してもらえるよう、人の流れ、会場のわかりやすさ、また協力店舗「サンクゼール」との回遊性に配慮し、人の往来が多いセンターコート付近に誘導を行った。モール内にイベントインフォメーションを設置し、メイン会場への誘導を行った
- 当日配布資料として、モール全体のイベント開催マップとメイン会場の詳細図を、クイズラリーの解答&アンケート用紙と両面刷りで作成し配布
- 楽器の展示コーナーや、便利な道具づくり体験（ワークショップ）コーナーに子どもたちが集まり、『人は人を呼ぶ』という効果が見られた
- クイズラリー参加者への記念品である、かわいらしくラッピングされたお菓子「マカポン」も集客アップの効果有り



▲メイン会場から離れたスペースに、イベントインフォメーションを設置。イベントの案内、メイン会場への誘導を行った



# 広報・PR

## イベントの事前告知

- ・事前配布チラシを県内図書館に配架
- ・各務原市内小中学校へチラシ配布
- ・中日新聞「介護の日特集」ページへの広告掲載（半5段）
- ・岐阜新聞11月2日朝刊への告知記事
- ・イオンモール各務原の事前告知支援（施設内にポスター設置、ホームページ・イベント情報や館内イベントカレンダー11月号への掲載）
- ・各務原市社会福祉協議会を通じての案内チラシ配布
- ・各務原市役所のホームページ・イベント情報に掲載

## イベント開催中の発信

- ・モール内の案内放送
- ・SNS等の活用



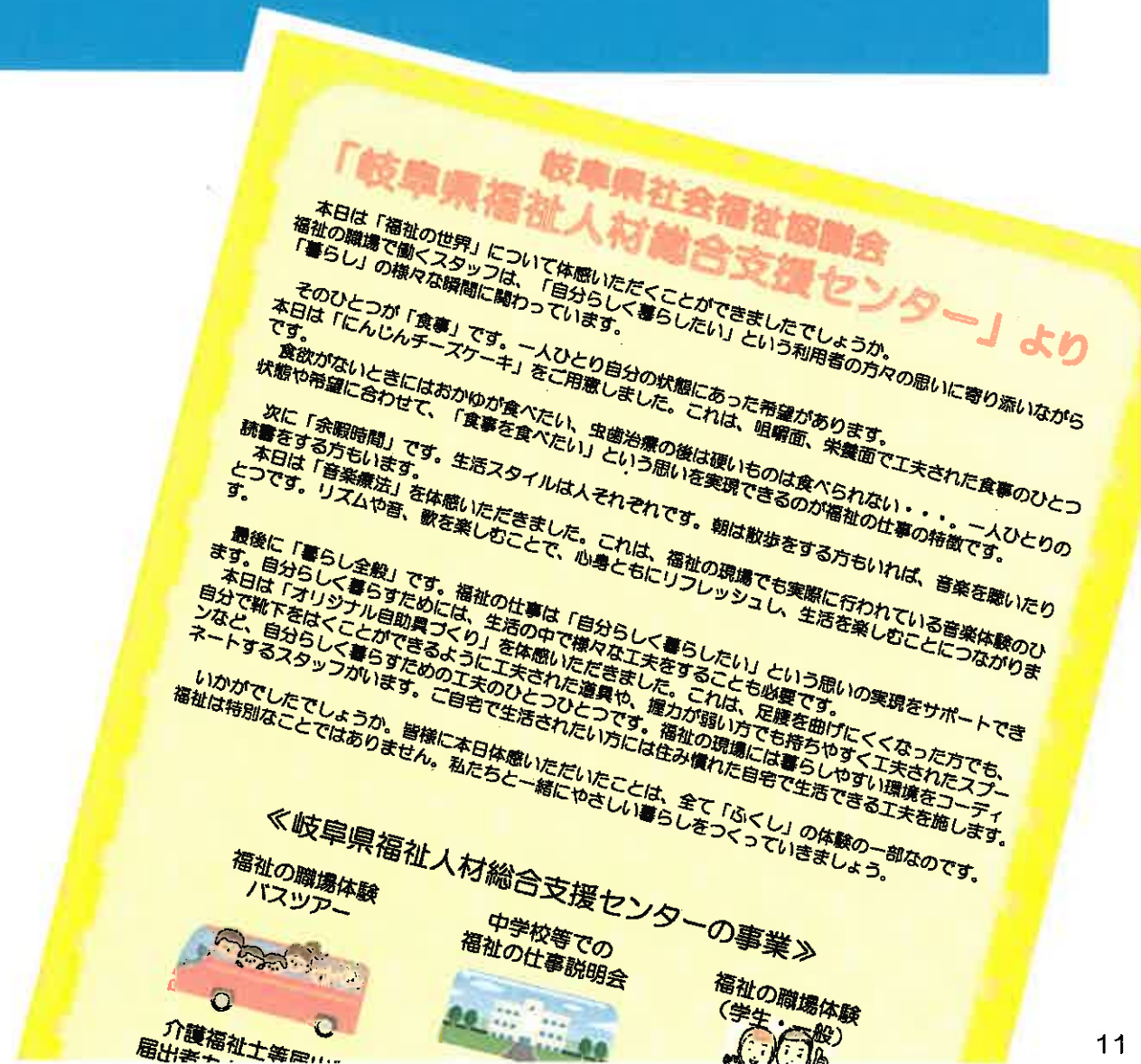
# 集客の効果・把握とフォロー

## 集客促進

- 福祉に関するクイズラリーを実施し、参加した方には解答・アンケート用紙を記念品と引き換え

## 参加者への情報発信

- 参加者には、クイズの解答解説と、福祉の仕事への就労に向けた人材センターからのメッセージを添えて人材センターの事業案内を記載し、センター事業の案内等と同封して配布



# マスコットキャラクター「とみにん」の効果的活用

今回、岐阜県「社協マスコットキャラクター とみにん」のパフォーマンスをプロ（イベント会社）に外注

## とみにんの動きのポイント

### ①動きをゆっくり、大きく

手を振る、体を傾ける、かかと立ちなど、実践可能な動きやポーズは限られる中、一つひとつの動きをゆっくり、大きく行うことを基本とする  
(オオサンショウウオのように。しかし時には機敏な動作も)



### ②一定の姿勢を確保

大きな動きをする必要がない時でも、「棒立ち」ではなく、クローバーを握っている方の腕は常に曲げた状態を継続するなど、一定の姿勢を確保・維持する



## 集客促進

### ③相手に合わせて目線や体の向きを

話しかけられるなど観客と接する際は、相手に合わせて目線や体の向きを変える。またしゃがむ、背伸びをするなど、相手に合わせて高さを調整する

### ④シナリオを把握し準備

イベントのパフォーマンスに際し、事前にどのように動くのか、動線、ダンスの振り付け等を確認し、サポートがなくても動けるようにする。また動きを自分のものにし、滑らかに振舞う

### マスコットキャラクター 「とみにん」の役割

- ①愛嬌を振りまく
- ②ポージング
- ③パフォーマンスをする





## 岐阜県福祉人材総合支援センター 事業案内

- 無料職業紹介事業所 求人事業所・求職者マッチング支援
- 福祉の職場体験事業
- 福祉・介護の職場従事者向け各種研修
- 介護福祉士等届出制度 届出者支援
- 介護福祉士等修学資金貸付制度 など

□□□ お問い合わせ □□□

岐阜県社会福祉協議会

岐阜県福祉人材総合支援センター

TEL:058-276-2510

〒500-8385

岐阜市下奈良2-2-1 福祉・農業会館